

前橋家庭裁判所委員会議事概要

- 1 開催日時 平成26年7月3日(木)午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 前橋家庭裁判所大会議室
- 3 出席者(五十音順)

(委員)

今井攻委員, 梅枝紀子委員, 懸川武史委員, 小坂敏幸委員, 佐藤美由紀委員,
下城茂雄委員, 関口雅弘委員, 羽鳥信之委員, 松井正太郎委員,
若木香織委員(以上10人)

(説明者)

前橋家庭裁判所 大杉充弘次席家庭裁判所調査官

同 齋藤辰男訟廷管理官

(事務担当者)

木村陽介事務局長, 勝田和彦首席家庭裁判所調査官, 柳下俊一首席書記官,
林秀典事務局次長, 長谷川哲也総務課長, 坪井隆人総務課課長補佐

4 議事

- 開会のことば
- 委員の交代
- 新任委員のあいさつ
- 報告「ボランティア活動拡充の取組の進捗状況について」
- 意見交換等

ア 家事事件の概況説明

イ 施設見学

ウ 意見交換

(委員長) 施設見学の感想や意見をお願いします。

(委員) きめ細かい人間心理に配慮した自分たちの知らないアイデアや技

が用意されていることに感心しました。ただ、初めて来られた方にもう少し分かりやすい案内をいただけたらと思いました。

(委員) 若干初めての人に冷たい印象を受けました。初めての方はこちらにというような案内があるのが良いと思います。案内の表示は、法律の専門機関ということもあって、一般の人にとって割と表現が硬いといふかなじみにくい印象を受けました。書記官室の入口の扉は案内表示がなく、期日で来庁された方が本当に入っていいのか躊躇を覚えるのではないかと感じました。もう少し一般の人目線での配慮をいただけたらと思います。

(委員) 乳幼児を帯同してきた当事者への配慮はどうなっているのかが気になりました。ベビーベッドはあるようですが、裁判所には手続の間面倒を見てくれる人がいるのでしょうか。

(委員長) 裁判所には子どもの世話をするスタッフはいないので、当事者には誰か御家族の方などを世話役として連れてきてもらうことになっています。

(委員) やはり一般の方に分かりやすい案内表示が大切だと思います。

(委員) 裁判所の施設は、柔らかい印象を受けました。ただ、争いのある当事者どうしのバッティングを防いだり、別事件の当事者同士がお互い顔を見られないようにするための導線について、きちんと配慮されているのかが気になりました。

(委員) 今の疑問についてですが、裁判所では、そもそも当事者は申立人と相手方の待合室を別にしてしています。紛争性が高く暴力がふるわれるおそれのある事案は、調停室を別にしたり、待合室を別階の調停室に設定するといった配慮も行っています。

(委員) 調停室の調停委員と当事者の距離が近過ぎる印象でした。通常、カウンセリングにおいては調停室のような四角のテーブルは使いません。

また、児童室はうなぎの寝床のような長方形でしたが、正方形の部屋の方が子どもの気持ちは落ち着くと思います。それから、箱庭療法を実施するなら、ごちゃごちゃ物のある部屋ではなく、もっとゆとりのある別室を設けて行うべきです。さらに、子どもは二者関係だけではなく、三者関係でどう振る舞うかというのが今後の適応を見る上で大切なので、三者関係の場面を観察するのも大切だと思います。最後に、暴力事案があるという話を聞きましたが、命をかけて職員が対応するのはどうかと思いますので、ガードマンの雇用など、事故が起きてからでは遅いので、あらゆる事態の発生を想定して予防する施策が必要なのではないかと思います。

(委員) 特にありません。

(委員) 特にありません。

(委員長) 大変貴重な御意見をありがとうございました。本日いただいた御意見を今後の家庭裁判所の運営に活かしていきたいと思います。

以 上